

2019年度 長沼小学校グランドデザイン

- 【長沼小の子供たち】**
- 素直、まじめ、優しい、恥ずかしがり
 - 固定集団で人間関係が深い
 - 活用力を問う問題が苦手
- 【長沼小の保護者・地域】**
- 学校に思いを持って協力する
- 【長沼小の職員】**
- 熱心、チームワークがよく安定

- 【福島県教育委員会】**
 ふくしまの和で奏でる こころ豊かな
 たくましい人づくり
- 【県中教育事務所】**
 知・徳・体のバランスのとれた、社会に
 貢献する自立した人間の育成
- 【須賀川市教育委員会】**
 未来からつかわされた
 「やさしく 正しく たくましいウルトラの子」

教 育 目 標		
豊かな知性と人間性をそなえた健全で実行力のある子どもの育成		
つながりながら学ぶ子	美しい生き方を考える子	自分の心と体を育てる子

つながりながら学ぶ子	美しい生き方を考える子	自分の心と体を育てる子
目標とする指標 ① 各種学力調査等の正答率が全国平均と同等又は上回る ② 学力の二極化改善(分布図のM字型解消)	目標とする指標 ① 不登校児童「0」 ② 保護者アンケート「未解決のいじめがない」5%改善	目標とする指標 ① 欠席「0」の日50日以上 ② 新体力テストの陥没項目の改善
ア 学び合う授業づくり ・子どもが聴き合う学び合い授業の実現 ・主体的で深い学びのある授業の実現 ・思考力・判断力・表現力の育成 ・校内授業研究、校外での研修の充実 ・学ぶことへの意欲を高める授業の工夫 イ 基礎・基本の定着 ・習熟の時間確保(授業中、チャレンジタイム) ・個に応じたきめ細かい指導(T・T指導、個別指導) ウ 英語科・英語活動の指導法改善 ・保護者に英語の授業の参観機会を提供する ・英語活動、英語科の指導、評価について研修	ア 児童理解をもとにした指導 ・児童が相互に認め合うことができる学級経営 ・児童の人間関係等をつかむQU検査の活用 イ 道徳科導入の主旨を生かした指導 ・考える道徳の実現、適正で効果的な評価 ・全ての教育活動の中での道徳教育の充実 ウ 特別活動の充実 ・学校行事に目標を持って参加できる指導 ・児童会活動での主体的行動ができる指導 ・クラブ活動での創造的活動ができる指導 エ いじめ対策の充実 ・未然防止、早期発見、早期解決を組織的に行う	ア 保健指導の充実 ・「早寝・早起き・朝ごはん」運動を推進 ・肥満傾向児童の指導 ・食育の推進 ・メディアコントロールの推進 イ 体力向上に取り組む ・めあてをもって自らを高めようとする学び方の指導 ・新体力テストの分析結果をもとにした指導 ・運動身体づくりプログラムの実施 ウ 安全指導の充実 ・危機意識を持った具体的・適時性のある指導 ・危険を予知し自らの命を守る能力を育成
安 心 ・ 安 全 ・危険等発生時対処要領の共通理解 ・事故、問題等への組織的対応 ・潜在危険の除去 ・説明責任を果たす ・空間放射線量の監視		
幼小連携、小中一貫教育の充実 ・児童・生徒、教員の交流の推進 ・保護者地域への情報発信		
特別支援教育の充実 ・特別な支援を必要とする子への支援を組織的に行う ・保護者、関係機関との連携による支援を充実させる		
学 習 環 境 の 整 備 ・余剰教室の活用 ・掲示環境の充実 ・校庭整備		
働 き 方 改 革 ・教師が児童と向き合う時間の確保 ・事務的業務の効率化 ・表簿類の電子化 ・作成教材の蓄積 ・健康管理のための適正な休養		

保護者・家庭・地域との連携	目標とする教師像
ア 学校の情報発信 ・たより、家庭訪問、電話、連絡帳、メール、ホームページ等を活用 イ 保護者・地域からの信頼獲得 ・保護者、地域の方への丁寧で、誠意ある対応 ・地域行事への協力 ・保護者、地域の方への声掛け、相談	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一人一人の力を最大限に引き出すことに真摯に心を砕き、児童個々の課題を見取り、組織的に職務を遂行する。 ○ かけがえのないお子さんを預かっていることを深く自覚し、事故防止及び人権や心を大切にしたい教育ができる。 ○ 自校の児童を全職員が担当している責任感を持って日々の教育活動にあたる。 ○ 児童個々の持てる力を十分引き出せる技術を獲得するために、謙虚に自己研鑽に努める。 ○ 保護者、同僚、関係機関と連携し、組織の力で問題を解決していくことができる。